

# 商業施設新聞掲載のお知らせ

平成 24 年 6 月 12 日付 商業施設新聞にアイゼットのインタビュー記事が掲載されましたのでご案内致します。

## メーカー・店舗関連

### インタビュー

株式会社 アイゼット  
代表取締役社長

### 林邦男氏

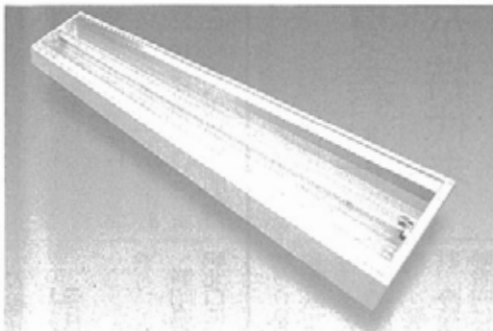


林邦男氏  
アイゼット代表取締役社長

—新製品について。  
林 ます、従来の蛍光灯器具は光源を2本使用しているものが多く、これまでは当社が主力としていたのは高性能反射板と高出力インバーターにより明るさを保ったまま2本の蛍光灯を1本に減らす商品だ。新製品は、光源にLEDを採用した製品となる。すでにサンプルはできており、8月から発売する計画だ。配線を含めた器具を丸ごと替えるタイプに加え、器具はそのまま使いたいという場合はランプと反射板のみを代替するユニットタイプを計画している。

—消費電力はどれくらい削減できますか。  
林 蛍光灯の消費電力は80W程度が一般的で、これまでの直管形LED照明は2本で50W程度まで削減しようというもの。我々の製

## 反射板活用して 照明本数を半分に



今後はLED照明と高性能反射板を組み合わせた商品を強化する

### LED照明にも採用

品では反射板を使い、これを30W程度にまで下げることができる。直管形LED照明の導入を控える企業や小売店は、導入コストが高割に消費電力が削減できないと答える企業が多い。新製品はこれらの要望にも対応できる。照明環境を変

ていくが設置場所ごと計算して反射板を製造する。天井の高さ、外からの光など環境に合わせて配光を調節でき、オフィス、商業施設など様々な場所で利用できる。

—価格は。

林 大手LEDメーカーがダンピングしたとしても対抗できる価格設定を考えている。LED照明では低価格商品に関して、安から悪かろうの風潮もあるが、当社は世界的なLED照明メーカーにLED用器具を製作、提供してきた。ときには大幅なコストダウンを要求されることもあり、品質を維持したまま低価格を実現するノウハウが構築できた。

—LED照明以外の製品の状況は。

林 引き続き多くの要望をいただいている。大手デパート、百貨店、地方中心に展開しているスーパー、バックヤード、駐車場などに導入された。節電意識が高まる中、LED照明だと導入コストが高いが、当社の製品なら低価格で大幅に節電できる点を評価いただけているようだ。環境にもよるが、ベースライトを当社製品に替えていた店舗で、使用電力全体から15〜17%削減できる。もし、今年も電力使用制限が必要なら大きな助けになるだろう。

—業績はいかがですか。

林 10年度(11年3月期)は売上高が50%増だった。11年度も50%増だった。お客様の数が増えたということもあるが、1カ所おおよび1企業あたりの採用の規模が増えたことが大きい。最近では保険会社が多いのもトピックスだ。自社ビルを持つケースが多く、電力削減が経費削減に直結するためだろう。

—中期的展望は。

林 当社の強みである反射板を活用したLED照明器具ができたので、これを増やしていきたい。

林 10年度(11年3月期)は売上高が50%増だった。11年度も50%増だった。お客様の数が増えたということもあるが、1カ所おおよび1企業あたりの採用の規模が増えたことが大きい。最近では保険会社が多いのもトピックスだ。自社ビルを持つケースが多く、電力削減が経費削減に直結するためだろう。

本社(長野) 〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1  
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800  
東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F  
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805  
福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア  
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182